

平成28年度

教育委員会点検・評価報告書
(対象:平成27年度事業)

平成28年10月
田布施町教育委員会

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、平成27年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

2 点検及び評価の実施について

(1) 対象事業

平成27年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「平成27年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

(2) 評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

(評価委員)

伊場 恭子(元中学校教頭、元町教育委員)
平永 俊明(元小学校長、元城南公民館長)
西光 俊雄(元町教育次長兼学校教育課長)

(評価基準)

- A: 目的に対し、順調に事業が達成できた。
- B: 事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね(8割程度)目的を達成できた。
- C: 目的の一部(5割程度)は達成できたが、事業の改善が必要である。
- D: 事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要である。

3 点検及び評価の結果について

別紙のとおり

4 学識経験者の知見について

(1) 評価全般について

学校施設や社会教育施設等、老朽化がかなり進んでおり、早期の改善策が必要と考える。特に中学校の大規模改修について計画的に実施してほしい。また、中央公民館については老朽化もだが、耐震化工事を含め、早期の対応をお願いする。

不登校については、昨年度より減少傾向ではあるが、児童生徒数から見ると非常に多いように思う。関係者を含め対応していると思われるが、さらなる連携や支援体制を強化していただき、すぐには結果はでないと思うが、一人でも多くの子供が解消できるよう努力していただきたい。

(2) 施設、事業ごとの知見

【学校教育の充実】

No.1 教育委員会運営事業

総合教育会議を実施し町長との連携を図られたことは非常に評価出来るし、今後も定期的に実施してほしい。小学校の適正配置についても、適正計画にのっとり十分精査されたい。

No.2 スクールバス運行事業

児童生徒の登下校や校外活動で利用する時など、安全安心な運行をしていただきたい。また、老朽化に伴う買い替え等については、今後の児童生徒数を考慮し、車種について十分検討されたい。

No.5 中学校管理事業

建築後20年以上が経過し、校舎や体育館の老朽化が見受けられる。大規模改修を計画的に実施されたい。また、学校環境整備についても空調設備等早急に対応していただきたい。

No.11 幼児教育推進事業

幼児教育は大切であり、関係機関と十分連携し、幼保小中連携の充実をさらに図っていただきたい。

No.17 コミュニティ・スクール推進事業

今年度から中学校で始まったが、初年度ということで方向性がなかなか定まらず、不満足な結果であったが、平成28年度は町内全ての小学校で開始されるので、しっかりとした計画で学校運営協議会を立ち上げていただきたい。

【社会教育施策の充実】

No.20 地域協育ネット推進事業

課題もある中、全体的に大変よく活動されている。ただ、放課後子ども教室がない学校もあるので、開催されるよう期待する。

No.21 成人式開催事業

長きにわたり実行委員会を立ち上げ運営していることは大変評価できる。今後も継続して成人式を実施していただきたい。

No.22 人権教育推進事業

人権教育推進大会を毎年実施されることは評価できるが、内容が毎年同じなので、多少工夫をすることが望ましい。

【豊かな文化の継承と創造】

No.24 地域公民館まつり開催事業

毎年、各公民館でまつりが実施されており、生涯学習の成果の発表の場となっているが、高齢化しており後継者の育成が望ましい。また、中央公民館も年々減少となっており、今後について十分検討されたい。

5 今後の取組みについて

事業の点検及び評価の結果を十分に精査し、その成果が効果的・効率的な教育行政が展開できるよう、学識経験者の知見を踏まえ、事業の見直し、改善を進めます。

平成27年度策定した田布施町教育大綱、田布施町教育基本方針に基づき、「事業の点検・評価票」の内容について検討を進めてまいります。また、「道德教育」「学力向上」「体力向上」に重点を置いた「田布施町の教育」の取組みをより強化します。

事業の点検・評価一覧表

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
1	教育委員会運営事業	720	A	学校教育課
2	スクールバス運行事業	8,558	B	
3	小学校管理事業	77,244	A	
4	小学校教育振興事業	1,788	B	
5	中学校管理事業	10,719	B	
6	中学校教育振興事業	3,734	B	
7	保健関係事業	4,327	A	
8	就学援助事業	13,463	A	
9	教員補助者設置事業	5,929	A	
10	幼稚園就園奨励費事業	14,859	A	
11	幼児教育推進事業	—	A	
12	生徒指導推進事業	1,518	B	
13	学力向上推進事業	—	A	
14	体力向上推進事業	—	A	
15	特別支援教育推進事業	—	A	
16	キャリア教育推進事業	—	B	
17	コミュニティ・スクール推進事業	50	C	
18	学校給食センター運営事業	78,353	A	
19	生きがい教室開催事業	303	A	社会教育課
20	地域協育ネット推進事業	1,001	A	

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
2 1	成人式開催事業	485	A	社会教育課
2 2	人権教育推進事業	468	A	
2 3	地域人権教育推進事業	1,146	B	
2 4	地域公民館まつり開催事業	430	B	
2 5	公民館運営事業	20,010	A	
2 6	公民館施設管理事業	65,949	B	
2 7	図書館管理運営事業	15,677	A	
2 8	郷土館管理運営事業	7,325	B	
2 9	埋蔵文化財調査事業	41,881	B	
3 0	スポーツ推進体制強化事業	484	A	
3 1	生涯スポーツ推進事業	2,551	B	
3 2	我がまちスポーツ推進事業	—	A	
3 3	スポーツセンター管理運営事業	20,358	B	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	教育委員会運営事業		
事 業 の 概 要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等		
事 業 の 実 績	・教育委員会会議及び協議会:6回 ・総合教育会議開催:1回 ・教育委員学校訪問:11月18日(小学校4校、中学校1校、給食センター) ・教育委員研修会等 ①山口県市町教育委員会委員研修会:4月15日(山口市) ②柳井地域教育委員等研修会:11月3日(柳井市) ③山口県教育委員会協議会・山口県教育長会合同定例会:3月29日(山口市) ・その他教育関係行事(小中学校入学式・卒業式・運動会、田布施町教育委員会表彰等)への出席		
事 業 の 経 費	720千円		
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組みを進めている。また、総合教育会議を開催し、町長部局との連携を図った。		
評 価	A		

No.2

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	スクールバス運行事業		
事 業 の 概 要	遠距離通学となる児童の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス3台を交通業者に委託。		
事 業 の 実 績	対象児童生徒の登下校及び総合的な学習活動や中学校クラブ活動に利用 ・麻郷小学校1台(対象人数:18人) ・田布施西小学校1台(対象人数:10人) ・東田布施小学校1台(対象人数:16人) ・スクールバス運行委託料 7,601 千円 ・スクールバス修繕料 957 千円		
事 業 の 経 費	8,558千円		
事業の成果と課題	遠距離通学の児童の通学条件の緩和や登下校の安全が図られた。また、麻里府小学校廃校に伴い、平成27年度より麻里府便が運行開始となった。 課題として、バスの老朽化に伴い修繕等も増加し、安全面から考慮すると早期買い替えが望ましい。		
評 価	B		

No.3

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	小学校管理事業		
事 業 の 概 要	所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う。		
事 業 の 実 績	・光熱水費 8,529 千円 ・点検管理業務等の委託 12 件 5,016 千円		

	浄化槽、校舎清掃業務等 ・田布施西小学校屋内運動場非構造部材設計監理委託料 2,156 千円 ・城南小学校屋内運動場非構造部材設計監理委託料 1,948 千円 ・田布施西小学校普通教室等改修工事設計監理委託料 1,947 千円 ・各小学校修繕費 4,504 千円 ・旧麻里府小学校記念碑設置工事 199 千円 ・麻郷小学校ことばの教室改修工事(建築)236 千円 ・麻郷小学校ことばの教室改修工事(空調)1,380 千円 ・田布施西小学校屋内運動場非構造部材耐震化工事 13,778 千円 ・田布施西小学校普通教室等改修工事(建築)12,412 千円 ・田布施西小学校普通教室等改修工事(電気設備)4,860 千円 ・城南小学校屋内運動場非構造部材耐震化工事 18,723 千円 ・学校用備品 1,556 千円
事業の経費	77,244千円
事業の成果と課題	児童の安全及び良好な教育環境を確保するために、学校施設の修繕等の早急な対応に取り組んだ。また懸案事項でもあった、非構造部材(屋内運動場の吊り天井等)の撤去や補強について、田布施西小学校・城南小学校の非構造部材の耐震化を実施した。
評価	A

No.4

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	小学校教育振興事業		
事業の概要	児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合学習等関係経費、教職員研修会等への補助金。		
事業の実績	・総合学習における講師謝金 55 千円 ・バス借り上げ料 189 千円 (陸上記録会、音楽祭) ・教材備品 362 千円 ・図書購入費 653 千円 ・各種負担金、補助金 529 千円 教職員研修会等		
事業の経費	1,788千円		
事業の成果と課題	ここ数年図書購入費が減額されており、増額していく必要がある。また、理科教育設備整備事業において、計画的に国庫補助を活用して備品等の整備を図りたい。今後、計画的に更新が必要である。		
評価	B		

No.5

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	中学校管理事業		
事業の概要	所管する中学校の施設の維持管理及び学校設備等の整備を行う。		
事業の実績	・光熱水費 5,057 千円 ・点検管理業務等の委託 9 件 4,008 千円 浄化槽、校舎清掃業務等 ・修繕費 1,355 千円		

	・学校用備品 299 千円
事業の経費	10, 719千円
事業の成果と課題	生徒の安全及び良好な教育環境を確保するために、学校施設の修繕等の早急な対応で取組んだ。 今後は、築20年以上経過しているため、大規模改修を計画的に実施していく。屋上や外壁等の防水や修繕、職員室や教室等の空調を整備していく。
評価	B

No.6

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	中学校教育振興事業		
事業の概要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合学習等関係経費、教職員研修会等への補助金。		
事業の実績	・総合学習における講師謝金 29 千円 ・バス借上げ料 85 千円 - 吹奏楽部コンクール出場(1台) ・教材備品 296 千円 ・図書購入費 449 千円 ・部活動備品 439 千円 ・各種負担金、補助金 2,436 千円 - 教職員研修会、部活動助成等		
事業の経費	3, 734千円		
事業の成果と課題	理科教育設備整備事業において、国庫補助を活用して計画的に備品の整備を図りたい。また部活動備品等老朽化が激しい物も多く、また、高額なため、年次的、計画的に更新をしていく。		
評価	B		

No.7

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	保健関係事業		
事業の概要	学校保健安全法に基づく小中学校児童生徒や教職員の各種診断。		
事業の実績	・教職員健康診断(基本検診)537 千円 ・教職員健康診断(胃検診)307 千円 ・教職員健康診断(結核検診)78 千円 ・児童生徒心臓検診(小1年・4年、中1年)874 千円 ・就学時健康診断 685 千円 ・児童生徒健康管理 1,846 千円		
事業の経費	4, 327千円		
事業の成果と課題	児童生徒の健康管理については、関係機関と連携を図りながら、迅速な対応をしている。		
評価	A		

No.8

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	就学援助事業		
事 業 の 概 要	経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。		
事 業 の 実 績	・小学校 学用品費 118 人 2,493 千円 医療費 17 人 49 千円 給食費 117 人 5,427 千円 ・中学校 学用品費 59 人 2,466 千円 医療費 1 人 2 千円 給食費 59 人 3,026 千円		
事 業 の 経 費	13, 463千円		
事業の成果と課題	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対して、必要な援助を与え、適正に運営している。		
評 価	A		

No.9

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	教員補助者設置事業		
事 業 の 概 要	特別な教育的支援を必要とする児童が、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。		
事 業 の 実 績	・配置校及び人数 麻郷小学校 1名 田布施西小学校 2名 東田布施小学校 3名 城南小学校 2名 計 8名		
事 業 の 経 費	5, 929千円		
事業の成果と課題	特別な教育的支援を必要とする児童が普通学級に何人か在籍しており、年々増加傾向にある。その児童の教育環境を整えるためにも、その他の児童の授業の障害とならないよう、教員補助者を今年度2名増員し各学校に配置している。		
評 価	A		

No.10

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	幼稚園就園奨励費事業		
事 業 の 概 要	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園の入園料及び保育料について、その一部を補助する。		
事 業 の 実 績	平成27年度は町内在住の園児123人を対象に保育料等の一部を補助した。		
事 業 の 経 費	14, 859千円		
事業の成果と課題	保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の全額又は一部を補助することにより、保護者負担の軽減の支援を行った。今後も国の動向を見ながら、事業を継続していく必要がある。		
評 価	A		

No.11

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	幼児教育推進事業		
事 業 の 概 要	幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。		
事 業 の 実 績	・幼保小中連携会議の開催(年3回) ・5歳児発達相談会での就学に関する相談、助言 ・就学時健康診断の実施 ・小中教員による幼保園訪問の開催 ・教員の幼児教育長期研修派遣の支援		
事 業 の 経 費	一 千円		
事業の成果と課題	幼保小中連携会議を3回実施し、基本的生活習慣指導の現状把握と指導助言を実施した。また、教員を幼稚園に長期派遣をし、連携を高めることができ、幼保園と小中学校教員による合同研修を実施した。		
評 価	A		

No.12

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	生徒指導推進事業		
事 業 の 概 要	児童生徒が互いの心身を大切に尊重し合える学校づくりや、小中学校で一貫した指導体制の確立。また、いじめや問題行動への早期発見・早期対応し、個に応じたきめ細かな支援体制を推進する。		
事 業 の 実 績	・SC、SSW の積極的な活用(定期的・臨時的相談、訪問含む) ・早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の指導 ・ケース会議の開催 (学校の要請により、SC、SSW、警察、児童相談所、関係各課の参加) ・町民福祉課との情報交換実施 【不登校】 【暴力行為】 【いじめ(認知件数)】 H26 小3人 中17人 小0人 中5人 小4人 中2人 H27 小3人 中13人 小3人 中2人 小4人 中15人		
事 業 の 経 費	1, 518千円		
事業の成果と課題	小学校の不登校について横ばいであり、中学校の不登校は減少傾向にあるが、比率から考えると非常に多い。このことに対し小中連携を進めるために、2学期に小学校へSSWと指導主事の不登校等状況把握に係る巡回訪問を行ったり、3学期にSCと中学校養護教諭、指導主事が各小学校に対し、中学校進学へ向けての情報交換訪問を行ったりしている。また、いじめ認知件数が増加した理由として、いじめの認知件数としてとらえる基準が変更になったため増加となっている。今年度から県の事業を活用し、SSW2名と委託契約をし、個別に対応している。また、SCも十分活用し、少しずつではあるが、改善方向に向かっている事案も増えている。 今後も、早期発見・早期対応を図り、個に応じたきめ細かな支援体制の強化を図りたい。		
評 価	B		

No.13

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	学力向上推進事業		
事 業 の 概 要	学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。		
事 業 の 実 績	・指導主事の学校訪問による指導、支援 ・校内研修(研究授業)への指導・助言 ・授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言 ・町学力向上担当者会議(年3回)の開催による全国学力学習状況調査及び県確認問題への対応 ・成長診断テストの実施及び指導による学力、生活の保証		
事 業 の 経 費	— 千円		
事業の成果と課題	各学校が研修主任を中心に「授業改善に向けた校内研修計画」「学力向上プラン」に基づき、授業や学習活動を行っている。 授業改善では、学校訪問や授業公開において、「めあて一言語活動一振り返り」授業の推進を指導した。また、町学力向上担当者会議を年3回開催し、学力向上担当が全国学力・学習状況調査や県学力定着状況確認問題の各学校の結果に対して、成果と課題を分析し、次への取組みを情報共有する場とした。 このように、町として年2回の検証改善サイクルを徹底して行った。その結果、課題に改善が見られ、町全体として好成績を上げることが出来た。		
評 価	A		

No.14

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	体力向上推進事業		
事 業 の 概 要	体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。		
事 業 の 実 績	・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導 ・町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝大会への参加 ・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言 ・スポーツまつりなど積極的参加の指導 ・学校林を活用した体力づくり		
事 業 の 経 費	— 千円		
事業の成果と課題	各学校で「体力向上プログラム」を作成し、業間体育や昼休み、放課後等を利用して体力向上に取組んだ。敷地内にある学校林を利用した体力づくりや、町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝への参加のための練習により、全校あげて体力向上への取組みを行った。体力テストに向けての、正しい測定の仕方、実施の仕方についての指導・助言を行い、結果に成果が見られた。 今後、県トップレベルを維持していくために、体力課題である柔軟性や投力・握力に重点をおいた工夫が必要と思われる。		
評 価	A		

No.15

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	特別支援教育推進事業		
事 業 の 概 要	児童生徒一人ひとりの障がいの状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。		
事 業 の 実 績	・町教育支援委員会の開催 ・町校内コーディネーター研修会の開催 ・町幼保小中連携会議の開催(年3回) ・就学に係る幼・保園訪問の実施 ・就学時健康診断の実施と結果通知 ・田布施総合支援学校や地域コーディネーターとの連携 ・各学校における特別支援学級設置状況 麻郷小学校:自閉症・情緒障害 田布施西小学校:知的障害、自閉症・情緒障害 東田布施小学校:知的障害、自閉症・情緒障害、難聴 城南小学校:病弱 田布施中学校:知的障害、自閉症・情緒障害		
事 業 の 経 費	— 千円		
事業の成果と課題	幼保小中連携会議により成果と課題の共有化を図り、田布施町の教育のあり方について共通認識した。 今年度より保健センターと情報の共有や連携を強化するためにも、5歳児発達相談に参加し、出来るだけ早い段階での就学に向けた相談ができる体制を構築した。また、就学時健康診断における知的発達検査の通知の仕方について改善した。 課題としては、各学校の校内コーディネーターの役割や重要性についても研修する必要がある。		
評 価	A		

No.16

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	キャリア教育推進事業		
事 業 の 概 要	社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。		
事 業 の 実 績	・キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導 ・1/2成人式、立志式の奨励 ・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言		
事 業 の 経 費	— 千円		
事業の成果と課題	キャリア教育に対して、社会見学や職場訪問、職場体験が、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では「栄光の旗」顕彰式が行われている。 「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実行するよう助言した。特に中学校に関しては、この式を立派な立志と捉えている。今後は、全員が将来の夢や目標に対しての志を発表する場を毎年設定していく必要がある。		
評 価	B		

No. 17

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	コミュニティ・スクールの推進事業		
事 業 の 概 要	学校・家庭・地域が連携・協働した体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校づくりや子供の育成に努める。		
事 業 の 実 績	・田布施中学校運営協議会4回実施		
事 業 の 経 費	50千円		
事業の成果と課題	今年度より中学校において、コミュニティ・スクールが始まったが、手探りの状態の中での出発となったため、十分機能が果たせなかった。内容や活動は改善が必要である。また、来年度から全ての小学校でコミュニティ・スクールが開始となり、具体的な構想を提示し、その方向に向けた取組を行う。		
評 価	C		

No.18

施 策 名	学校教育の充実	担当課	給食センター
事 業 の 名 称	学校給食センター運営事業		
事 業 の 概 要	児童生徒の心身の健全な発達のため、安全でおいしくバランスのとれた栄養豊かな食事を提供し、健康の増進、体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。 児童生徒が生涯にわたって健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。		
事 業 の 実 績	・給食対象校 小中学校 5校 ・年間給食回数 195 日 ・年間給食 249,375 食 ・給食費収入額 65,376,150 円 ・米飯 週 3.5 回 パン 週 1.5 回 ・地場産週間における地場産食材使用状況 年間平均 83.5% ・各小学校への学校給食巡回訪問 20 回		
事 業 の 経 費	78, 353千円		
事業の成果と課題	・食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残菜率が低下してきている。今後もこの取組みを継続していく。 ・食中毒や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底していく。 ・老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。 ・町職員調理員の減少にともなう今後の運営方針は、町職員調理員が3人になるまでは直営を継続していくが、その後の運営を検討していく。		
評 価	A		

事業の点検評価票(社会教育課)

No.19

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	生きがい教室開催事業		
事 業 の 概 要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、多くの仲間と共に地域とのふれあいを深めることにより、生涯学習の推進を図る。各公民館で教室生を募り、教室生自らが講座を計画・立案を行い、定期的(月1回程度)に教室を開催する。(講座運営費 年1,500円を徴収)		
事 業 の 実 績	修了証書授与者 城南公民館29人、西田布施公民館49人、東田布施公民館39人、麻郷公民館30人、麻里府公民館36人 (経費内訳: 講師謝金、消耗品費等)		
事 業 の 経 費	303千円		
事業の成果と課題	各公民館生きがい教室とも、30人弱から50人弱程度の参加があり、教室生が主体的に事業運営に取組み、講座内容も防災・防犯、健康に関することや、小中学生とのふれあい、研修旅行など多岐にわたり、各公民館で高齢者の生涯学習の場として特色ある取組みがされている。		
評 価	A		

No.20

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	地域協育ネット推進事業		
事 業 の 概 要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと、子どもと地域の交流の場づくりを推進するため、放課後子ども教室の企画・運営を支援する。		
事 業 の 実 績	・放課後子ども教室(8教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「たぶせキッズ教室」、「田布施子ども囲碁教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」 ・教育支援員等スキルアップ研修会(2回) 中央公民館にて講義(12月3日)、熟議(12月25日) 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3 補助、補助額 630千円) (経費内訳: 講師謝金、消耗品費、通信運搬費等)		
事 業 の 経 費	1,001 千円		
事業の成果と課題	各地域の放課後子ども教室指導者・支援員が熱心に関わり指導しており、地域の方と子どもとが同じ時間・同じ場所・同じ内容に取り組むことを通して、共感的理解を促し、教育効果はもとより地域の活性化にも大きく寄与している。 教育支援員等スキルアップ研修会により、子どもへの関わり方、効果的な支援方法を学び、指導者自身の資質の向上及び情報交換による相互の交流を図っている。 課題としては、全小学校区での放課後子ども教室の開催が未実施のため、麻郷小、城南小での開催が期待される。 平成28年度からの各小中学校のコミュニティ・スクール立上げに伴い、各小中学校に関わっている「田布施町地域協育ネット」の組織の役割が重要であるため、組織の充実・改編を図っている。		
評 価	A		

No.21

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	成人式開催事業		
事 業 の 概 要	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成7年4月2日から平成8年4月1日までの出生者。		
事 業 の 実 績	・成人式行事 開催日時 平成28年1月3日13:00～ 会場 西田布施公民館 対象者 128人 (H26 151人) 出席者 91人 (H26 118人) (経費内訳: 賞賜金、消耗品費、印刷製本費、食糧費等)		
事 業 の 経 費	485千円		
事業の成果と課題	8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、新成人が率先して、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を打合せ、充実した内容の成人式を実施している。		
評 価	A		

No.22

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	人権教育推進事業		
事 業 の 概 要	町民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現を目指し、人権教育講座、人権教育推進大会等を開催する。また、広報掲載などの活動により、人権教育の推進を図る。		
事 業 の 実 績	・人権教育講座開設事業 人権教育学習講座(中央公民館、参加者 延 135 人) 10月 8日「家庭ともに考える情報モラル教育」 森脇敏雄先生 10月15日「子どもの人権を守るために」 松田洋子先生 10月22日「ありがとう～小児がんで往った息子に教わったこと」有國美恵子先生 ・人権教育推進大会(西田布施公民館、参加者 約200人) 11月28日「笑って元気～必要とされている喜び～」矢野大和先生 - 県事業「市町人権教育推進事業」 人権教育講座開設事業(1/2 補助、補助額 130千円) ・町広報紙面に「私たちと人権」を掲載(年6回) (経費内訳: 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等)		
事 業 の 経 費	468千円		
事業の成果と課題	人権教育学習講座については、各種のテーマを取り上げ、参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会については、夏休み中に児童生徒の作文・詩・スローガンを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に、人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。 課題としては、行事の実施・参加で終わらない切れ目ない活動が望まれることと、出席者が社教部長、自治会関係者、民生児童委員、小中学校教職員、婦人会など特定の人間に限られるため、これまで以上に一般への周知、啓発が必要である。		
評 価	A		

No.23

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	地域人権教育推進事業		
事 業 の 概 要	地域の人権教育推進を目的に各自治会から社会教育部長を委嘱し、各公民館で開催する地域懇談会の企画・運営等行う。		
事 業 の 実 績	・城南地域懇談会 8月21日 46人(参加者数) 12人(社会教育部長会人数) ・西田布施 〃 6月21日 63人(〃) 15人(〃) ・東田布施 〃 7月11日 45人(〃) 22人(〃) ・麻郷 〃 6月20日 70人(〃) 17人(〃) ・麻里府 〃 7月19日 70人(〃) 7人(〃) (経費内訳:講師謝金、報償費)		
事 業 の 経 費	1, 146千円		
事業の成果と課題	地域懇談会では社会教育部長会が中心となり、人権問題を幅広く捉え講師を依頼し行事を開催している。各地域の社会教育部長会は3回から8回開催し、地域における学習機会・情報提供の充実などに努めている。		
評 価	B		

No.24

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	地域公民館まつり開催事業		
事 業 の 概 要	10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。		
事 業 の 実 績	・田布施町文化展(中央公) 10月24日～25日 300人(参加者数) ・城南公民館まつり 10月4日 800人(〃) ・西田布施文化祭 11月2日 800人(〃) ・東田布施公民館まつり 11月14日～15日 850人(〃) ・麻郷公民館まつり 11月15日 900人(〃) ・麻里府文化展 11月 8日 400人(〃) (経費内訳:補助金 ※田布施町文化展は文化協会への補助金)		
事 業 の 経 費	430千円		
事業の成果と課題	各公民館とも、講座の展示、ステージでの発表、小学校児童の出展、婦人会による出店など地域住民の協力を得ながら開催している。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ場となっている。 多数の協力者が参加しており、地域住民のふれあいの場となり。地域の活性化に貢献しているが、協力者の多くが高齢化しており、若い後継者が育っていない。各館とも講座が減少しているため、出品者も減少傾向にある。		
評 価	B		

No.25

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	公民館運営事業		

事業の概要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、また講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。
事業の実績	・中央公民館 (施設利用状況) 1,138件、11,767人(H26 1,291件、10,604人) ・城南公民館 ホタルまつり(5月)、盆踊り大会(8月)、体育大会(9月) (施設利用状況) 671件、11,133人(H26 666件、8,563人) ・西田布施公民館 球技大会(10月)、子ども料理教室(8月)、桜まつり(3月) (施設利用状況) 1,902件、31,937人(H26 1,916件、28,447人) ・東田布施公民館 球技大会(9月)、コスモスまつり(10月)、子ども料理教室(7月、1月) (施設利用状況) 1,214件、10,519人(H26 1,098件、9,079人) ・麻郷公民館 スポーツ大会(4月)、盆踊り大会(8月) (施設利用状況) 820件、13,368人(H26 826件、12,412人) ・麻里府公民館 盆踊り大会(8月)、親子料理教室(8月、12月) (施設利用状況) 371件、4,729人(H26 397件、4,596人) 公民館使用料合計 2,983千円(H26 3,076千円) (経費内訳) 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等
事業の経費	20,010千円
事業の成果と課題	各公民館において、地域の拠点となる行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。貸館業務についても、適切に運営され、利用者も多く生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設の環境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。
評価	A

No.26

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	公民館施設管理事業		
事 業 の 概 要	各公民館施設の維持管理を行う。		
事 業 の 実 績	・施設		
	中央公民館	S43年建築 RC 造2階建	967. 67㎡
	城南公民館	S56年建築 RC 造2階建	610. 61㎡
	西田布施公民館	S61年建築 RC 造平屋建	1, 079. 09㎡
	東田布施公民館	S62年建築 RC 造2階建	613. 93㎡
	麻郷公民館	S55年建築 RC 造2階建	613. 68㎡
	麻里府公民館	S52年建築 RC 造平屋建	360. 85㎡
	竹尾分館	S63年建築 木造平屋建	176. 37㎡
	国木分館	H 元年建築 木造平屋建	237. 99㎡
	小行司分館	H 6年建築 木造平屋建	199. 93㎡
・耐震診断、耐震化工事実施状況			
中央、城南、麻郷、麻里府公民館（S56年5月以前建築）耐震診断実施（H22） （診断結果）中央、城南、麻郷公民館 耐震無、麻里府公民館 耐震有 城南、麻郷公民館 耐震補強工事完了（H23） 中央公民館 耐震化工事未実施 （経費内訳） 光熱水費、電話料、保険料、保守点検管理委託料、下水道使用料、修繕料等 （工事請負費）			
・中央公民館防水改修工事 1, 944千円			
・東田布施公民館非常放送設備更新工事 663千円			
・西田布施公民館防水改修工事 11, 916千円			

	・西田布施公民館太陽光パネル等設置工事 36, 287千円 計 50, 810千円
事業の経費	65, 949千円
事業の成果と課題	施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。 中央公民館は、築後47年が経過しており、雨漏りのため陸屋根の防水改修工事を行ったが、建物の老朽化のため、雨漏りを完全に防げず応急措置で対応している。 また、耐震化工事は未実施で、耐震診断結果は2階の X 方向(東西方向)のみが、Is 目標値「0. 60」に若干足りない「0. 53」となっている。他の公民館についても、築後38年から28年が経過し施設の老朽化が進んでいるため、公共施設整備計画等の検討が急務の課題となっている。 東田布施公民館は、非常放送設備更新工事を行った。 西田布施公民館は、田布施町地域防災計画において、福祉避難所として位置付けられているため、再生可能エネルギー導入事業の対象として選定された。事業により、太陽光発電システム、蓄電池、風力＋太陽光ハイブリッド街灯を設置し、停電時の通信手段、避難民の健康維持のための電源を確保した。
評価	B

No.27

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	図書館管理運営事業		
事業の概要	田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、充実した管理運営を行い、図書館まつりや読書感想文コンクールの開催、移動図書による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動など読書活動の普及・啓発を図る。		
事業の実績	・図書館利用状況 - 購入冊数 1, 878冊(H26 2, 077冊) - 蔵書冊数 87, 875冊(H26 85, 793冊) - 貸出冊数 85, 131冊(H26 87, 687冊) - 登録者数 14, 118人(H26 13, 854人) - 利用者数 35, 723人(H26 35, 727人) ・移動図書 9箇所を巡回 6, 050人(利用者) 10, 133冊(貸出冊数) ・読書感想文コンクール 10月27日～11月9日 応募作品1, 176点 ・読書貯金通帳 通帳の配布(6月1日～) ・第23回図書館まつり 2月20日 読書感想文コンクール表彰等 431人(参加者数) ・クリスマス会 12月19日 「おはなしの会」主催 44人(参加者数) ・ボランティア「おはなしの会」 10回開催 延309人(参加者数) ・読書会「七草」 12回開催 延53人(参加者数) ・朗読ボランティア「もやいの会」 24回開催 延103人(参加者数) ・点訳ボランティア「ほおずきの会」 44回開催 延204人(参加者数) ・ブックスタート事業 「ブックスタートパック」を贈呈 82人(4ヶ月乳児) (施設) 田布施図書館 H3年建築 RC造2階建 855. 23㎡ (施設整備事業) ・空調機更新工事(2F講座室) 718千円 ・空調機更新工事(2F学習室) 626千円		
事業の経費	15, 677千円		
事業の成果と課題	図書館の活動実績については、利用者数は横ばいであるが、登録者数は増加している。また、読書活動についても、各種の事業により普及促進が図られている。 施設管理では、建築から20数年が経過しており、空調機更新、内装補修等の経費		

	が増加しているので、順次対応が必要である。
評 価	A

No.28

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	郷土館管理運営事業		
事 業 の 概 要	岸信介・佐藤榮作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、町民文化の向上を図る。		
事 業 の 実 績	郷土館利用状況 入館者数 2, 527人(H26 2, 615人) ○企画展 富永有隣と明治維新に関わる人達展 平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日 来場 584 ○特別展 ・山口県埋蔵文化財センター巡回展 平成 27 年 8 月 5 日～平成 27 年 9 月 27 日 来場 342 人 ・碧松の句絵手紙展 平成 27 年 7 月 8 日～平成 27 年 7 月 31 日 来場 234 人 ・おおばのフォトクラブの会員の皆さんの写真展 平成 27 年 11 月 15 日～平成 27 年 11 月 29 日 来場 94 人 ・古代米アート・応募写真の優秀作品の展示 平成 27 年 12 月 3 日～平成 27 年 12 月 22 日 来場 94 人 ・田布施町思い出の写真パネル展 平成 28 年 1 月 22 日～平成 28 年 2 月 28 日 来場 312 人 田布施町郷土館研究紀要(第16号) 8月1日発行 郷土館友の会(ふるさと民話紙芝居作成) 「線香浴」(第26作) 9月26日 「池寺縁起」(第27作) 3月26日 田布施町郷土館 RC造2階建 748. 00㎡ 土地 1, 209. 00㎡ NTT-AP より賃借(旧電話交換所事務棟) 賃借料 2, 052千円		
事 業 の 経 費	7, 325千円		
事業の成果と課題	企画展や特別展、埋蔵文化財の巡回展等を積極的に開催し、郷土の歴史・文化の研究・紹介などに努めている。 賃借物件は、本来、収蔵品を適正に保管するための施設ではなく、湿度管理など困難な面がある。このため収蔵品を適正に保管するための設備が必要とされる。 また、建物は建築から相当の年月が経過しており、(但し、27年度NTT-APにより外装および一部内装の改修がされた)また設備についても貸借当初(平成元年)設置の冷暖房設備の不具合やトイレの改修要望など、老朽化が進んでいる。施設の新築、移転についても、現在の契約期間(H28年度～H32年度:5年間)を考慮しながら、検討する必要がある。		
評 価	B		

No.29

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
-------	-------------	-----	-------

事業の名称	埋蔵文化財調査事業
事業の概要	国営緊急農地再編整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査及び発掘調査を行う。 周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等処理する。
事業の実績	・南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業(委託金 96.87% 31,900千円) 時貞団地調査報告書作成事業 4,068千円 石の口団地発掘調査事業 26,833千円 計 30,901千円 ・単独事業 町内遺跡試掘調査事業 378千円 作業所整備事業 237円 発掘調査関連事業 10,365千円 計 10,980千円 石の口団地現地説明会 8月23日 約30人(参加者数) 石の口団地現地説明会 12月12日 約70人(参加者数)
事業の経費	41,881千円
事業の成果と課題	町が行う発掘調査事業は3年目となり、文化財専門員を中心に調査事業を進めている。 発掘調査事業終了後に現地説明会を開催し、地元住民や関係者の理解を深めている。また、発掘調査の状況を役場の「玄関展」として、また、文化財を広報に掲載し、町民に知っていただく取組みも行っている。
評価	B

No.30

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツ推進体制強化事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、スポーツ団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図り、また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成の場を提供し、生涯スポーツの推進を図る。		
事業の実績	・スポーツ推進委員 町スポーツ推進委員会 3回開催(スポーツ推進委員 10名) 県スポーツ推進委員研修会(光市) 6月13日 心身障害者協議会ふれあい球技大会で指導 10月12日 老人クラブ連合会レクリエーション大会で指導 10月22日 さくら健康マラソン大会・スポーツまつり・ウォーキング大会・町内一周駅伝大会等で指導・協力 ・スポーツ少年団 県スポ少ジュニアリーダースクール(光市) 7月28日～30日 県スポ少指導者研修会(光市) 9月5日 県スポ少指導者・育成母集団研修会(平生町) 12月20日 県認定員養成講習会 10月31日 11月1日 3人(町スポ少指導者受講)		
事業の経費	484千円		
事業の成果と課題	スポーツ推進委員、スポーツ団体指導者、スポーツ少年団指導者等が連携し、スポーツ施策の推進に努めている。		
評価	A		

No.31

施 策 名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	生涯スポーツ推進事業		
事 業 の 概 要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、また、一人一スポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。		
事 業 の 実 績	総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」（町補助金 400千円） クラブ員数 12団体、314人(H26 313人) 会員親睦交流大会 7月4日 約300人(参加者数) 「田布施町スポーツ少年団」（町補助金 381千円） 団員数 12団体、232人(H26 235人) 結団式 4月29日 約300人(参加者数) 「田布施体育協会」（町補助金 1,370千円） 団員数 14団体、約600人 町内一周駅伝競走大会 12月13日 46チーム(H26 45チーム) 「田布施川さくら健康マラソン大会実行委員会」（町観光協会補助） 田布施川さくら健康マラソン大会 4月5日 1,227人(H26 1,320人) 「たぶせスポーツまつり実行委員会」（町補助金 400千円） たぶせスポーツまつり 10月17日 約1,300人(H26 約1,000人) ウォーキング大会 10月17日 102人(H26 92人)		
事 業 の 経 費	2,551千円		
事業の成果と課題	各団体とも団員拡大、自主運営の推進及び団体相互の交流促進に努め、生涯スポーツの振興に貢献している。 また、各団体ともスポーツイベントを円滑に進め、普及拡大に努めているが、地域との連携・協力が十分とはいえない状況にある。また、3大行事を体協に委託しているが、推進体制の見直しなど課題もある。		
評 価	B		

No.32

施 策 名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	我がまちスポーツ推進事業		
事 業 の 概 要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組みとして、ウォーキングの普及を図る。		
事 業 の 実 績	実施主体 総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」 ウォーキング大会 10月17日 102人(H26 92人) 魅力再発見ウォーキング 年24回実施		
事 業 の 経 費	一 千円		
事業の成果と課題	県の補助事業は終了したが、「田布施町スポーツ推進計画」(平成26年3月策定)でウォーキングを我がまちスポーツと位置付けて、事業の推進に取り組んでいる。 ウォーキングマップの配布、ウォーキング大会・魅力再発見ウォーキングの実施を通じて、ウォーキングによる町民の健康増進に努めている。		
評 価	A		

No.33

施 策 名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
-------	------------------	-----	-------

事業の名称	スポーツセンター管理運営事業
事業の概要	指定管理者「田布施体育協会」により、田布施町スポーツセンターの管理運営を行う。
事業の実績	施設利用状況 第1体育館 17,200人(H26 17,314人) 第2体育館 21,564人(H26 22,727人) プール 3,748人(H26 1,093人) グラウンド 15,564人(H26 16,162人) 弓道場 4,212人(H26 3,768人) テニス場 2,490人(H26 2,127人) 艇庫 30人(H26 ー) 施設使用料合計 2,753千円(H26 2,569千円) 施設 第1体育館 S57年建築 S造平屋建 728.50㎡ 第2体育館 S58年建築 S造平屋建 1,221.00㎡ プール上屋 H26年建築 S造平屋建 914.64㎡ 〃更衣室 S57年建築 RC造平屋建 118.83㎡ 弓道場 S62年建築 木造平屋建 295.64㎡ 艇庫 S58年建築 S造平屋建 447.00㎡ グラウンドナイター設備 H2年設置 8基 (グラウンド 16,358㎡) 指定管理協定(平成20年度から導入) 指定管理者 田布施体育協会 指定期間 平成26年4月1日～平成29年3月31日(3年間) 指定管理料 17,830千円(1年間) (施設整備事業) スポーツセンター野球審判席等撤去工事 1,370千円
事業の経費	20,358千円
事業の成果と課題	施設利用について、使用料は26年度に続き増収になっており、利用者数も増加しているため、減少に転じないよう施設利用の拡大の努力を続ける必要がある。 指定管理については、施設管理業務等は概ね適正に管理されているが、体協組織の高齢化も進んでおり、後継者の育成及び組織体制の強化、法人化への取り組み等の課題もある。
評価	B